『血、きってみる』

登場人物

正真正銘のヒトリモノ／モトアケ

寄る辺なきヒトリモノ／クニトコ

集団の中のヒトリモノ／カナサキ

自覚あるヒトリモノ／アワヤ

愛されるヒトリモノ／ハニ

存在しないヒトリモノ／タノメ・モトアケJr

ラブリーエンジェルなヒトリモノ／トモダチ

放置されたヒトリモノ

そこに浴槽がある。
放置されたヒトリモノは掃除用具を片手に一休みする。
煙草に火を点けてぼんやりと浴槽を眺める。
灰皿に押し付けるとおもむろに掃除を始める。
タイルを磨く。
浴槽を磨く。
服を脱ぐ。
キャミソールだけになると何かに気が付いて、
ふと、浴槽を覗き込んだ。
何かを見つける。
そっと手を伸ばして、浴槽の底にある何かを拾い上げようとする。
その瞬間。
バッとシャワーから雨粒。
その勢いは全てを洗い流す。
浴槽から水しぶきをまき散らしながら、
若い男が歌い狂う。

♪どうしたんだへへいべいべ。

男は服を脱ぐのを忘れていたことに、その時気が付いた。
喪服の黒が濡れてさらに黒色を増す。
水が熱いのか冷たいのか。
口に入った水滴は塩辛すぎて吐き気がした。
嗚咽ではないとイイワケするために、また歌を歌った。

♪いつものようにきめてぶっとばそうぜ。

口の中に吸い込まれた無限の空気が、次のフレーズを準備してる。
体がもう今は、ただ歌おうとしていた。毛穴さえも空気を取り込もうとして。
細胞のはじっこまで空気を送り込む。
足のふくらはぎに溜まった血の濁りが胸まで起ちあがってくる。
体の内側を血液が走りぬける。空気を運ぶ。
熱いのはシャワーなのか、この体なのか。
細胞、それらひとつひとつが、今はただもう、歌っている。
生きているものは歌う。無言で。あるいは絶叫で。

♪こんな夜にお前に乗れないなんて。こんな夜に発車できないなんて。

放置されたヒトリモノ　ちょう、うるさいねんけど。
モトアケJr　…なんか、
放置されたヒトリモノ　服、着たまんまやし。
モトアケJr　なんかやってな、あかんようになる気がして、こういう夜は、ひとりでいたらあかんから。とりあ

えず、ひとりでいたら、あかんから…
放置されたヒトリモノ　は？
モトアケJr　「拝啓、父上どの。あの火葬場で焼かれたのは俺のほうやったんちゃうか」

ぐらりとモトアケJrは放置されたヒトリモノとともに浴槽に倒れ込む。
水しぶきが上がると、
浴槽の縁に手をついてもうひとりのモトアケが喪服で浴槽を覗き込み
絶叫する。

♪　どーしたんだへへいべいべ

歌い狂うモトアケ、咽が枯れるほど切実に。

カナサキ　モトやん、おかしなったんか？

湯船からずぶぬれのカナサキがのっそり立ち上がる。

モトアケ　…カナサキ？

クニトコ　ぶちぎれてしもたんやな。

また湯船からずぶぬれのクニトコがひょっこり立ち上がる。

モトアケ　あ、クニトコ…お前ら何やその恰好、外、大雨か？

学生時代の友人たちの喪服がさらに黒光りしている。

モトアケ　ずぶぬれやんけ。

濡れた水のせいで。

カナサキ　靴ん中まで海底みたいや。
モトアケ　そんなにか？ゲリラ豪雨にでも遭ったみたいやぞ。
カナサキ　なに言うてんねんモトアケ、これはあれやろ。
モトアケ　ん？
カナサキ　お前の涙や。
モトアケ　？
クニトコ　モトアケ、もうそろそろや。出棺。

浴槽、覗いてみると、ゆらぐ水の中に、自分の顔が見えた。
思わず体を引いて逃げる。ボタボタ、黒い革靴と靴下の隙間から涙がこぼれる。

クニトコ　大丈夫か？
モトアケ　俺、
カナサキ　クニトコ、そっち持って。

と、浴槽に手をかけた。

モトアケ　俺の顔や、俺の、
カナサキ　そやなぁ。
クニトコ　待ってカナサキ、俺もう一回手合わしたい。最後やから。
カナサキ　俺も手あわせとこ。モトアケ…お前、やっぱりめっちゃおっちゃんと似てるなぁ。

「この大雨、足元悪いなか父のためにお集まりいただき誠に、」

というこの言葉は、モトアケの声で聞こえるのか。
それともモトアケJrの声で聞こえるのか。

モトアケ　拝啓、父上どの。あの火葬場で焼かれたのは俺のほうやったんちゃうか…

風呂場に響く声。湯船からにょっきりと腕が伸びてくる。
いつのまにかクニトコもカナサキの姿も見えない。
湯船からおいでおいでする腕に、モトアケの体は硬直した。
じっと見つめていると、にょっきり伸びた腕が湯船の底に沈む。
モトアケは、まさかとそっと湯船を覗き込んだ。

モトアケ　！？

飛び出した腕はモトアケのネクタイをつかみ、湯船へ引きずり込む。
ワイシャツを脱がせる。ネクタイでモトアケの両腕を縛る。
水から顔を出したずぶぬれの、ラブリーエンジェル。

モトアケ　まてまてまてまて、とりあえず、お、お、しゃべる…？
ラブリーエンジェル　しゃぶる？
モトアケ　まてまてまてまて、ちゃうねん、べしゃる、会話のほう。
ラブリーエンジェル　べつにそれでもええよ。
モトアケ　とりあえず年季入り過ぎやろ、その、きみは。
ラブリーエンジェル　はたち。
モトアケ　だまされん、それでは誰もだまされん。
ラブリーエンジェル　若い子出払ってるねん。
モトアケ　いまのは、別に年齢差別とかやないから、会話？会話の流れで、
ラブリーエンジェル　どうでもええけど。あれやったら替える？
モトアケ　いい、いい。このままで、会話、重視でいくから。
ラブリーエンジェル　もったいな。うちの技術、間違いないねんけどな。

モトアケ　とりあえず、その、
ラブリーエンジェル　会話したいんやろ？
モトアケ　とりあえず、
ラブリーエンジェル　とりあえずな。じゃアメリカンジョークでもかませる？
モトアケ　あ～、じゃとりあえずアメリカ人になるまで４時間くらい時間もらえる？
ラブリーエンジェル　電波一本やな。
モトアケ　あ～え～、と、どこ住んでんの、この仕事いつから？
ラブリーエンジェル　は。友だちと、きもだめし？ちゃうな、度胸だめし、みたいなことして、それからかな。
モトアケ　そんなはじまりで？
ラブリーエンジェル　ええ店やってん。はじめて入った店が良かったから続けてるんちゃうかな。毎日おもろいで。うち職人やから。
モトアケ　職人、か。
ラブリーエンジェル　性職人？技術？うち、これ人間的やと思てるから。職人はどこいっても食べていけるし。
モトアケ　ずっとできるもんと、ちゃうでしょ。
ラブリーエンジェル　うち、鶯谷の幸子さん尊敬してるねん。７３才。大人気。
モトアケ　７３の、デリヘル嬢…想像、つかん。
ラブリーエンジェル　ふつうなぁ若いのに行くやん？うちもずっとそう思っててん。イロイロ言うても動物やろて。やから若い細胞とりにくる、本能やろって。でも人間進化してるねんたぶん。本能が変化していってるねんたぶん。鶯谷の幸子さん見てから、うち年取るの楽しみになったもん。
モトアケ　へえ、あぁ、そうか。
ラブリーエンジェル　なぁ、おっちゃん。
モトアケ　うん？
ラブリーエンジェル　さっぱり勃たへんなぁ。
モトアケ　…昨日まではそうやなかったんや。
ラブリーエンジェル　なんか原因、こころあたりあるん？

「拝啓、父上どの。
　あの火葬場で焼かれたのは俺のほうやったんちゃうか」

ラブリーエンジェル　なんや、自覚あるんや。そしたら、お宅、わざわざふにゃちんぶらさげて、ここ何しに来たん？
モトアケ　人、探しに。
ラブリーエンジェル　誰探し？
モトアケ　まだ見ぬ子どもを探しに。

♪あいうぉんちゅー
　あいにーじゅー
　あいらぶゆー
　あたまんなか
　がんがんなってるみゅーじっく
　へびーろーてーしょん

ラブリーエンジェルは湯船の底、排水溝に吸い込まれ。
モトアケは、湯船に浮かんだセーラー服を、じょぼじょぼ垂れる水を気にもせず、
ぴしゃりと体に張り付く不快感を我慢して着込み始める。
両太ももの間にぴしゃり張り付くリーツスカートをはがす。

カナサキ　あかん、モトやん、それは気持ち悪すぎるやろ。
クニトコ　しかし、これどこから仕入れてきてん。
カナサキ　ドンキやな。あれは魔法の国や。
モトアケ　セーラー服を脱がさないでっ。
カナサキ　モトやん、厳しいわ。それで外出たら捕まるで。
クニトコ　そんなもんくらいで捕まるか。
カナサキ　おっちゃんの葬儀の最中からモトやんおかしいで。
クニトコ　俺ちょっと分かるわ。
カナサキ　クニトコ、スカート引っ張ってくれ。
クニトコ　モトやん。もう完全なアローンやろ。
カナサキ　引っ張ってって、クニトコ！
クニトコ　俺よりアローンやろ。
カナサキ　あろん？
クニトコ　お前相変わらずアホやの。モトやん。兄弟おらんし。おっちゃんと二人きりやったやんか。俺は別れたヨメさんと、あんま顔知らん息子おるけど、モトやん、もう誰もおらん。ちょっとほっといたれ。
カナサキ　何の話やねん？
クニトコ　大家族のお前とは無縁の話や。
カナサキ　仲間外れすんなや。
クニトコ　お前もう大人やろ。
カナサキ　大人が仲間外れ恐れたらあかんのか。
クニトコ　世間は認めん。
カナサキ　俺は認める。
クニトコ　そこまでの価値はお前にはない。
カナサキ　あ、モトやん、
クニトコ　どこ行くねん？
モトアケ　理想の娘を探しに。
カナサキ　順序的にその前に嫁探そか。な。
モトアケ　父親似の。３Ｄ似顔絵つくってみた。俺の娘ってきっとたぶんこんな感じやと思う。
クニトコ　わぁ……こんな子おったら不憫やなぁ。
カナサキ　モトやん、せめて息子やったらあかんのか？
モトアケ　息子はあかん。なんかちんちん同士がケンカするからあかん。
カナサキ　合コンセッティングしたるわな。クニトコ、お前、別れたヨメ呼んで。
クニトコ　あかんやろ。
カナサキ　友達の友達とかおるやろ。
クニトコ　バツイチ合コンなるで。
カナサキ　ええやんけ。俺の嫁の友だちのママ友で埋めるよりかええやんけ。
クニトコ　落ち着け、合コンセッティングしてる場合やない。

カナサキ　モトやんが家庭持つ気になったんや、気変わる前にババッとまとめたらな、
モトアケ　持つ気はない。
カナサキ　娘欲しい言うたやんけ。
モトアケ　息子よりええってだけや。
カナサキ・クニトコ　はぁ？
モトアケ　インスタントで欲しいだけや。
クニトコ　そら無理な話やなぁ。
モトアケ　知ってる。理想を言うただけや。

湯船からずぶぬれのラブリーエンジェルが姿を現す。

ラブリーエンジェル　これ忘れモン。
クニトコ・カナサキ　ラブリーエンジェル。
ラブリーエンジェル　そっちの、勃起不全のおっちゃんの喪服。

びしゃん、と喪服を床に置いたラブリーエンジェル。

ラブリーエンジェル　またのご指名お待ちしておりまーす。

ずぶずぶと、ラブリーエンジェルは湯船の底に消えていく。
…しばらく。
無言の空気を切り裂くように、

クニトコ・カナサキ　モトやん！？マジか！？

２人が絶叫した。

湯船の水をまき散らしながら、アワヤがずぶぬれで立ち上がる。

♪My Mama told me when I was young
We are all born superstars
She rolled my hair and put my lipstick on
In the glass of her boudoir
“There’s nothing wrong with lovin’ who you are”
She said, “Cause he made you perfect, babe.”
“So hold your head up girl and you’ll go far,
Listen to me when I say”

I’m beautiful in my way
Cause God makes no mistakes
I’m on the right track baby
I was born this way

Don’t hide yourself in regret
Just love yourself and you’re set
I’m on the right track baby
I was born this way

マイクよろしくシャワーヘッドをにぎりしめ歌う。

アワヤ　あ。はい、やっぱりひとつのことをずっと続けてきたことが今につながってると思います。あ。名前を決めようって思った時にもう引き返せないように自分に呪縛をかけたところもありますね。アワヤって、「あ」は「天」つまり「父」を。「わ」は「地」つまり「母」を。「や」は「やや」、「子ども」を表します。私はひとりで全てです。つまりコンセプトを名前にしたんです。そんなもの作品じゃないって叩かれることばっかりですけど、貫く信念ってそう簡単に叩き潰せないって、そう言いたいです。そりゃつらくって泣けてくることもあって、そういう時はもう風呂場で泣きます。トイレ以外に一人なれるのって風呂場でしょ。泣けてきてもうれしくても、風呂場でバァってなんかいろいろ出すんです。洗って出して流して、吸い込まれて消える水を見て、また明日頑張ろうって自分を奮い立たせる。って、未来にインタビューとかされたらこういう風に話すつもり。

男たち３人はただ呆然とアワヤを見る。
アワヤは凛と立っている。

カナサキ　…モトやん。知り合い？
クニトコ　モトやんの家やしな。
モトやん　俺…知らん…
アワヤ　これから知ってもらうだけのことです。

湯船からずぶぬれのお包(くる)みを取り出すアワヤ.

アワヤ　あなたの子よ。

男たち３人はオドロキの声をあげる。

カナサキ　モトやん、どの夜やどの夜の出来事や？
クニトコ　理想がいきなりやってきたで。イガイと良かったんちゃうこれ。
カナサキ　勃たんようになる前にちゃんと仕込んでるんやん。
クニトコ　落ち込んだりもしたけれど私は元気ですって感じやな。
カナサキ　他にも散らばらせてるんちゃうんか。
クニトコ　なんやモトやんアローンちゃうやん。
モトアケ　え。あ。いつや。あ。天王寺で飲んだ時かなぁ？
アワヤ　覚えてないの？
カナサキ　覚えてないんか？
クニトコ　一晩っきりやったらしゃあないかもな。
モトアケ　い。や。

カナサキ　一年以上も前の一晩思い出せるか？
モトアケ　一年前、一年前は、かよちゃんは覚えてるねん。落語のＣＤ流しながらやないと嫌やっていう。枝雀の落語、強烈に覚えてるけど。
クニトコ　ワンナイト主義はこうなったらややこしな。
アワヤ　ホントに覚えてない？
モトアケ　…
アワヤ　覚えてないんだ。
モトアケ　すんません！
アワヤ　当然よ。初対面だもの。

男たち３人はまた別のオドロキの声をあげる。

アワヤ　ああ、よしよし大丈夫よ。泣かないで。
モトアケ　俺の見間違いやったら教えてくれ。
クニトコ・カナサキ　うん。
モトアケ　俺にはあのお包みの中身が丸太に見えるんやけど。
クニトコ・カナサキ　うん。
モトアケ　間違いない？
クニトコ・カナサキ　うん、丸太や。
アワヤ　セッティングさせてもらっていいですか？
モトアケ　は。え。セット？
アワヤ　え。私、アワヤと申します。

濡れた名刺をモトアケに渡すアワヤ。

モトアケ　インクが滲んでもうなにがなにやら。
アワヤ　私、丸太アーティストなんです。
モトアケ　俺の聞き間違いやったら教えてくれ。
クニトコ・カナサキ　うん。
モトアケ　今丸太アーティストて言うた？この人。
クニトコ・カナサキ　うん。言うた。
モトアケ　なんですの、それ。
アワヤ　まさかご存じない？
３人　うん。
アワヤ　世界中が丸太に熱狂的なのに？
３人　初耳。
アワヤ　いつからナンバは先進国じゃなくなったの？丸太アートを知らない人たちがいるなんて。丸太をアートにまで昇華させるんです。私の生涯かけて昇華させるんです。
モトアケ　じゃ俺全くの無関係やんね？
アワヤ　無関係だから関係するんです。全くの無関係の家の扉をノックすることからもう作品は作り始められているんです。それでは何でもない日々記録公開のためにウェブカメラセッティングを。
モトアケ　ちょちょちょ、ここ俺の家。

アワヤ　存じてます。関係のない人だからこそ、丸太アートは巻き込みます。この丸太一本お包みに包まれて。見てください。

アワヤはそのお包みを少しはだけてみせる。

アワヤ　チラ。チラチラリ。

３人の男たち、チラチラするお包みの中の丸太を覗き込んだ。

アワヤ　見ないで！

３人　どっちやねん！？

アワヤ　お包みの中はアナタの真実。

３人　？

アワヤ　アナタの真実が丸太に刻み込まれているから、見ないで。でも見たいでしょう？でも見ないで。でも見たい。そんな気になってはきませんか。

カナサキ　いや、そんな気になるんやったらそれひっぺがしたら、

アワヤ　見ないでぇぇぇぇ！真実だから見えないの、包んでるその中身を想像するの、そこにあるって思いながら、そこにはないのでもあるのぉぉぉ！

アワヤの気迫に言葉を失う３人。アワヤ、けろりと、

アワヤ　ね、見たいでしょ？

できるだけアワヤを刺激しないために、もう頷くしかない３人。

アワヤ　じゃお邪魔します。

カナサキ　…モトやん、ほんまに初対面？

アワヤ　初対面です。初対面がそんなに珍しいですか？

クニトコ　この状況ではある意味ね。

アワヤ　アートが日常に染み込んだ時何を生み出すか。無関係のあなたの扉をノックしたのは、全く、純粋な、ただの偶然でしかありません。

クニトコ　偶然のところに「災難」のルビふっとけ。

モトアケ　だったら隣の家でもええよね？

アワヤ　私、役立たずの人間のところにしかいきません。

モトアケ　それ、どこからの情報やねん。

アワヤ　無料アプリ。

モトアケ　余計傷つくわ。

アワヤ　私、見過ごされることには傷つきません。いつか、丸太アートは全ての人に受け入れられると思ってがんばります。

モトアケ　んー、俺はちょっと受け入れ難いかな。

アワヤ　眉間にシワがありますけど、ご迷惑でしょうか。

モトアケ　うん。大迷惑。

アワヤ　だけどこれが私！

アワヤは気にもせずマイクよろしくシャワーヘッドをつかんで歌う。

♪Ooo there ain't no other way
Baby I was born this way
Baby I was born this way
Ooo there ain't no other way
Baby I was born this way
Baby I was born this way
Ooo there ain't no other way
Baby I was born this way
I'm on the right track baby
I was born this way

浴槽の縁に丸太ん坊やが置いてある。
それを少し離れたところからじっと見ているモトアケ。
お包みの中を、透視するように。
無言でじっと見る。
じっとじっと、見えるはずもないものをじっと見る。
そんなモトアケの横を当たり前のように通り過ぎて、
アワヤは丸太ん坊やを抱っこして、
ぴしゃぴしゃ咽元あたりをガーゼでぬぐってやるアワヤ。
モトアケは、それを、じっと見ている。

アワヤは丸太を置きっぱなしにして、
ドボンと浴槽の底に沈んだ。

モトアケ　１９６９年７月２０日。ハロー、アームストロング船長。あなたが月に降りた時、僕は地球に降りたらしい。その後、月面着陸の疑惑は絶えないけれど、僕の地面着陸も疑い深い。その後の僕はどうですか？ハロー、１９９９年の僕、恐怖の大王はやってきましたか？ハロー、２０１０年の僕。アトムは誕生しましたか？ハロー、２０２０年の僕。タイムマシンは出来ましたか？ハロー、２０３０年の僕。第三次世界大戦は起きました？ハロー、２０４０年の僕。もう宇宙に引越していますか？ハロー、２０５０年の僕。まだ地球はありますか？ハロー、１００年後の僕。その後の僕はそこにいますか？ハロー、一万年後の僕。その後の世界に涙は存在しますか？ハロー、そこに今いるあなた。ハロー、そこで今俯いたあなた。ハロー、そこで今時計見たあなた。ハロー、そこで今見ているあなた。

カタカタと、パソコンに向かうモトアケ。
カナサキ、湯船からびしょ濡れの文集を取り出す。

カナサキ　おっちゃんの荷物の整理やのに、なんでこんなもんあるねん。

モトアケ　知らん。記念にとっといたんやろ。
カナサキ　これ書いたんお前？
モトアケ　こんな辛気臭いの書かん。クニトコやろ。
クニトコ　何でやねん、モトやんの名前書いてあるやろ。
モトアケ　俺こんなん書かへんって。
クニトコ　カナサキ、お前何書いたか覚えてる？
カナサキ　俺、ロックンロールベイベーって書いた。
クニトコ　綴り間違ってる。
カナサキ　はずー。お前は覚えてるか？
クニトコ　忘れた。昨日の夕飯も思い出せんわ。
モトアケ　もうええって帰れや。片付けくらい俺一人で出来るから。
カナサキ　なぁ、
モトアケ　なに？
カナサキ　なぁなぁて、
モトアケ　なんやねん！？
カナサキ　アワヤちゃんまだおんの？
モトアケ　おる。
カナサキ　もうやった？
モトアケ　やるか。
カナサキ　なんで！？
クニトコ　そらそうやろ、あれ手出したらヤバイで。ほとんどキチガイや。
カナサキ　俺はそうは思わんね。ただのさびしがり屋やな。
クニトコ　ほなお前いけや。
カナサキ　なんでやねん、お前がいけや。
クニトコ　お前が、
カナサキ　お前が、
モトアケ　俺、もう勃たんから。
カナサキ　モトやん…いつまでそれ着てるねん。仕事ならんやろ。
モトアケ　俺会社勤めちゃうから、

と、エンターキーを打った。

モトアケ　終わった。
クニトコ　仕事か？
モトアケ　デザインデータ送れたらどんな服着てても関係ないしな。
カナサキ　あーえーなー自営はえーなー。
モトアケ　キツいわ、お前やってみろ。
クニトコ　それよりたまには外出ろよ。
モトアケ　まぁ適当に、
カナサキ　あんなぁ…モトやん、もしかしてな、それ更年期障害ちゃう？
クニトコ　男やぞ。
カナサキ　男でもあるねんって。モトやん情緒不安定やろ、病院行ったらどや。

クニトコ　好きにさせたれて。
カナサキ　でも今のモトやん普通ちゃうやん。
クニトコ　ほっといたれて。
カナサキ　俺、昨日駅前でモトやん見た。
モトアケ　…
カナサキ　終電行った駅前で、電信柱の横に立ってたん、見た。
モトアケ　…
カナサキ　そのカッコで。『この子を見かけませんでしたか？』ってボード手に持って。
モトアケ　俺そのものが、まだ見ぬ娘の３Ｄの似顔絵写真やからな。
カナサキ　確実頭おかしいやろ。いもせん子ども探すのはおかしいやろ。
クニトコ　カナサキ。
カナサキ　お前なんか勘違いしてるって絶対。ウェイトレスって映画見た？
クニトコ　カナサキ話ずれてる。
カナサキ　ずれてない。５、６年前かな。おいしい人生の作り方ってサブタイトル。夜中にテレビでやってて、見る気なかったんやけど、
クニトコ　泣ける？
カナサキ　びびる。お金と子どもと女友だちがおったら男いらんっていうメッセージを俺は受け取ったね。
クニトコ　お金と子どもと女友だちがおったら、ろくでなしの男はいらんって訂正したるわ。そんなん昔から分かりきってることやろ。
カナサキ　お前のコトバ重たいな。
クニトコ　経験者やからな。
カナサキ　お前、おっちゃんおらんくなって、急に「俺ってなんや」て思春期みたいなこと考え出したんやろ。ほんで子どもでもおったら「俺存在」見つけられるとか思ったんやろ。
モトアケ　そこまで、考えてない。ただ、
カナサキ　ただ何やねん。
モトアケ　血が、
カナサキ　は？
モトアケ　血が、動きよんねん。風呂でも入って落ち着かそうて思っても、血がな、うるさいねん。データが、うるさいねん。ダウンロード先、探してるみたいに、うるさい。
カナサキ　ぜんっぜん現実的ちゃう。そらお前あんなサブイボ出る文集書くわ。何一番しんどいところすっとばしてんねん。インスタントやったら楽やわ。俺リア充なんやぞ。分刻みにリア充すぎるんやぞ。教室の前まで連れて行かな教室入られへんていうねん。俺と嫁交替制や。来年から高校やのにやぞ。
モトアケ　…何の話やねん？
クニトコ　カナサキ、もう遅いからお前帰れ。あんなモトやん、こいつの家今大変やねん。
カナサキ　帰るわ。明日日曜やぞ。朝から鶴見緑地公園行かなあかんねんぞ。ついでに車でアウトレットやぞ。そしたらまた月曜日やぞ。不渡でそうやぞ。誰のためやねん。お前がやってること自分のためだけやんけ。自分が一番しんどいとか思うなよ。
クニトコ　利己的いうやつやな。
カナサキ　難しいこと言うな。
クニトコ　分かった、分かったから。
カナサキ　あいつ分かってへんやんけ。
クニトコ　当たり前やろ、この場を丸く収めるためだけに言うてるねん。

カナサキ　大人みたいなこと言うな。
クニトコ　お前大人やろ。
カナサキ　俺はずっと中二男子じゃ。
クニトコ　そろそろ高校入学しろ。
カナサキ　うるさいわ。

カナサキ、シャワーのヘッドをつかんで絶叫した。

♪Help! I need somebody
Help! Not just anybody
Help! You know I need someone
Help!

「パパ、ご近所迷惑！」
と、カナサキの嫁の声がした。
カナサキの髪の毛先から、シャワーの水で濡れて水滴がしたたり落ちる。

カナサキ　…はーい。

最終電車が通り過ぎる。
どっと吐き出される人たち。
人波に逆らうようにモトアケがやってくる。
通行の邪魔にならないように道のはしっこ、ボードを手に持つ。
『この子を見かけませんでしたか？』
もちろん、モトアケはセーラー服姿。
通り過ぎる人の視線も気にせず、立っている。
しばらくして、アワヤが人波に逆らうようにして歩いてくる。
無言で、モトアケの隣に立つ。
お包みにくるまれた丸太ん坊やを抱いて。
アワヤは足元にボードを置いた。
『丸太ニ刻マレ　タ　真実』
と、おどろおどろしい文字で書かれている。
２人はどちらもひたすら道行く人を見ている。

アワヤ　立派な変態ですね。
モトアケ　お前もな。
アワヤ　アートです。
モトアケ　誰も見てへんやん。
アワヤ　そんなことでメげてたらやっていけません。
モトアケ　見られてナンボちゃうんか。
アワヤ　それは娯楽です。
モトアケ　目ふせられてたらあかんやろ。

アワヤ　未来に向けて発信してるんです。
モトアケ　今、目ふせられてるもんが未来に見られるとは思われへんけど。
アワヤ　多くのアートは後世に発見されるものです。
モトアケ　言い訳やな。今の現状の言い訳。可能性の言い訳。想像の言い訳。努力の言い訳。
アワヤ　なんとでも。痛くも痒くもありません。
モトアケ　ちゃう。
アワヤ　違わないです。
モトアケ　自分に言うてるだけや。
アワヤ　視覚から入り込むんです。
モトアケ　…え、なんて？
アワヤ　どこかで誰かの網膜に入り込むんです。町の電信柱の横、お包みに包まれた丸太ん坊やを抱きかかえて立っている私の情報を、視覚から入れるんです。そして垂れ流していくんです。
モトアケ　？
アワヤ　視界のはしっこにチラチラ映る、あれなんだったっけ。ひとつ情報を増やすんです。でもそれがなんだったのか分からない。そんなもんでしょ人生は。
モトアケ　それもアート？
アワヤ　生き方です。
モトアケ　君いくつ？
アワヤ　御想像におまかせしますけど。
モトアケ　終わってるな。
アワヤ　これからです。
モトアケ　マトモに生きや。
アワヤ　それはあなたの感覚として？
モトアケ　は？
アワヤ　あなたの感覚のマトモは、セーラー服姿でいもしない誰かを待つこと？
モトアケ　君に迷惑かけた？君は俺に迷惑かけてるけど、俺、かけた？
アワヤ　そのおさげ姿がマトモ？
モトアケ　あのな、俺のマトモは、
アワヤ　私、男がダメなんです。
モトアケ　…！？
アワヤ　そして女がダメなんです。子どもがダメなんです。老人がダメなんです。人間がダメなんです。生身がダメなんです。生まれつきなんです。過去の精神的トラウマとかじゃありません。あなたの言うところのマトモじゃない私を見下しますか？
モトアケ　…そーゆー…踏み込んだ話は、別にしとない。

人通りが、少しすくなくなった。

アワヤ　自覚ありますから。
モトアケ　…何の…？
アワヤ　遺伝子的に淘汰される自覚ありますから。劣性の自覚ありますから。神様のブラックリストに載ってるんですたぶん。未来にはいらない遺伝子リストに載ってるんです。
モトアケ　お前今ものすごいこと言うたん分かってるか？ヒトラー並みや。そしたらあれか、子孫残せへんやつ

らはみんな劣性か？どんな事情があっても劣性か？
アワヤ　だって世間ってそう見るもの。だから神様に抵抗するんです。
モトアケ　ほしたら世間に抵抗しろや。
アワヤ　あなたはそれで抵抗してるの？
モトアケ　俺のは、
アワヤ　何？
モトアケ　…
アワヤ　本能とかプリミティブなこと言う？
モトアケ　…
アワヤ　ゴリラと人間の違いは？
モトアケ　お前友だちおらんやろ。
アワヤ　あなた、自分にいるとでも思ってるんですか？
モトアケ　おるわ。
アワヤ　私はそんなもんより自分の確信がほしいもの。
モトアケ　アートってや、そういう風に使うもんちゃうんちゃうの？卑屈な動機やで。せめてロマンでも語れよ。
アーティストやったら。
アワヤ　はい？
モトアケ　俺や、思うねんけど。これほとんどロマンや。１００年後、お前も俺も確実におらんやろ。俺そない賢こないから、あれや、せーぶつ学的にとかは分からんけど、本能とかちゃうな。もう。俺ら生きもんのルールからかなり九十度ねじ曲がってるくせに、俺らたぶんロマンが足りんわ。１００年とかケチくさいこと言わんと、１０万年後、俺らのカケラはそこにあるんか。あったらおもろいなぁって、思いながら目閉じるねん。
アワヤ　この時代にそのぬるい考え方、あなたバブル世代？
モトアケ　偏見か！
アワヤ　得意技は時代のせいにすることでしょう？
モトアケ　分かった。俺が君をアーティストって認められへんのは、相手の気持ちを思いやる心が皆無やからや。
アワヤ　それ当たり前のことでアート関係ないじゃない。
モトアケ　いやだから俺の思うアートとお前が言うアートの、この、すれ違いが、話をややこしくしてるねん。
アワヤ　どこあたりが？
モトアケ　えーと、だから、ああ、俺の、友だちのクニトコの、別れた嫁、めっちゃ不妊治療しとってん。１０年や。なんや俺よう知らんけどホルモン剤打って、あれしんどいらしいわ。それを１０年や。金も有り余ってるワケちゃうからな。厳しいねん。あいつ散々、散々話し合ったって、もう疲れたって。それで結局離婚や。で、離婚決めた瞬間に、諦めた瞬間に、ポッと出来よってん。
アワヤ　離婚したのにやることはやったわけね。
モトアケ　ほら、そーゆー、そおゆう発言があかんやろ。そんな夜もあるわ。
アワヤ　中出しする夜ってことね。
モトアケ　お前いっぺん死んでこい。
アワヤ　それで私はその話から何を読み取ればいいわけ？
モトアケ　…出来てん。やっと。しんどい思いして。そやのに、クニトコ、元には戻れんかってん。
アワヤ　だから？
モトアケ　アートってや、そういう時に、戻せる、繋げられる、ような、そういう、なんか、ちゃうんか？
アワヤ　そんなこと。考えたこともなかった。

カラッとしたアワヤの答えにモトアケは唖然として。
車のクラクション、まだ人通りはある。
モトアケとアワヤは目の前の人通りの遙か向こうを見る。

足が浴槽の縁に飛び出す。
すね毛。
クニトコのすね毛。
湯船に張られた水から、クニトコが顔を出す。
クニトコの唇が動いて歌を歌う。

♪いいんだぜ
いいんだぜ
いいんだぜ
いいんだぜぇ

君がどメクラでも
チンバでも
小児麻痺でも
どんな方輪でも

いいんだぜ
いいんだぜ
いいんだぜ

モトアケ　お前、目ふせられてるぞ。
アワヤ　みんな見過ごしてるだけ。
モトアケ　ちゃうやろ。
アワヤ　違わないです。
モトアケ　お前のほうが見過ごしてるんや。だから誰もお前を見いひん。
アワヤ　私に言うってことはそれ自分に言ってるんですよホントは。

♪君がうつ病で
分裂で
広場パニックで

どんなキチガイでも
いいんだぜ
いいんだぜ
いいんだぜ
いいんだぜぇ

ハニ　やっぱり見いひんねんな。

アワヤはモトアケを見ない。
モトアケも、誰も見ていない。
背中の方から声がする。
モトアケの背中にぴったり背中をくっつけるようにして、
そこにハニがいる。

ハニ　あたしがどんな顔してるか、見てへんやろ。
モトアケ　見てる。
ハニ　見てよ。
モトアケ　見てるって。
ハニ　見てへん。
モトアケ　だから、
ハニ　あたし他に男つくったからな。
モトアケ　知ってる。
ハニ　は？
モトアケ　いつ言うんかなぁ思てた。
ハニ　知ってて、いつもどおりやったん？知ってんのに、何も、言わんかったん？なんで？
モトアケ　お前から言うのがスジやろ。
ハニ　何も、思わんかったん？
モトアケ　あーそーなんかーって、思ったな。
ハニ　そっか。いつも通りか。何も見てへんのは、
モトアケ　見てたから気づいたんやろ。
ハニ　そしたら何かあるやろ？
モトアケ　なぁ、逆切れおかしないか？
ハニ　モトアケ、どこまで省エネやのん？
モトアケ　時代に合わせとんねん。
ハニ　時代関係ない。
モトアケ　ごめんなぁ、ハニー。
ハニ　は…？
モトアケ　お前の時間、無駄に使わせてもた。
ハニ　自覚、あるんや。
モトアケ　１０年間もだらだらだらーって、無駄に過ごしてもた。
ハニ　別れよ思たら、いつでも出来たわ。
モトアケ　なんでせんかってん、今まで。
ハニ　あんたは、アホやなぁ。あたしの気持ちまで見過ごしてるやん。
モトアケ　ケッコン決まったら教えてくれ。
ハニ　教えるか。
モトアケ　モトカレ代表でスピーチしたる。
ハニ　モトアケ。
モトアケ　ごめんなぁ。なんで、みんな出来ることが、俺には出来へんのかな。

ハニ　ちゃんと見てへんからや。
モトアケ　ただ一緒に暮らして生きていくだけやのにな。
ハニ　あたしじゃなかっただけやろ？
モトアケ　ちゃうねん。ハニーのせいちゃう。

ドボンと水音を立てて、クニトコのすね毛は水に沈む。
モトアケは人差し指を立てて横に滑らす。
まるでスマートフォンを操作するような指先。

モトアケ　速すぎてやぁ、指先向こうまですぐに飛んでいくねん。スピード増して、適当に乗り継いで、すっとばしてちんちらぽっぽや。つま先軽いから俺、適度に適当結構性に合ってる。ハニーには分からんやろうけど、血が、血がな、どっと流れ込むやろ。でっかなってはちきれそうで体が戦闘モードになる。単純やで、たかだか血がそこに集まって起ってるだけやのに。速すぎてやぁ。空っぽになったら、なんであんなに白けるんかな。俺ずっとな、真っ赤な血が真っ白けになってシラけてる、終ったアトの、あの時の状態が続いてる。むなしなぁ。

モトアケの背中から、ハニの温度が消えていく頃、

モトアケ　だからハニーのせいちゃうねん…

モトアケはアワヤに言うとも、自分に言うともなく、

モトアケ　…むかつく。
アワヤ　なんとでも。
モトアケ　むかつくわ。
アワヤ　私、もしかして当たられてます？
モトアケ　そうやむかつく…自分見てるみたいで…
アワヤ　似てるからむかつく？
モトアケ　似てない。
アワヤ　似てるんだって。
モトアケ　似てない。
アワヤ　ちゃんと自覚ある？
モトアケ　何の自覚やねん。
アワヤ　自分しか好きじゃないって自覚。
モトアケ　それはお前やろ。
アワヤ　見過ごしちゃえば？
モトアケ　そうやって見過ごして結局傷つけてもた人がおるねん。
アワヤ　だってしょうがないじゃないそれがあんたなんでしょボーンディスウェイですよ。
モトアケ　二度とそれ歌うな。ガガに失礼や。
アワヤ　あ。
モトアケ　何やねん。
アワヤ　時代の行列。
モトアケ　は？

アワヤ　駅前商店街のイベントでしょ？地元なのに知らないの？
モトアケ　真夜中やぞ…
アワヤ　だって時代は真夜中の闇に消えていくものでしょ。

ゆらりと、
湯船の水が動いた。
「１９６９
けっ
１９７０
こうおお
１９７１
ごとあり
１９７２
ましてん」

湯船から、時代の行列が零れだす。
「１９７３
ぺえじ
１９７４
に・した
１９７５
ら・うちゅう
１９７６
に・とどく」

時代の行列がモトアケの目の前を通り過ぎていく。

１９７７けっこう
１９７８おお
１９７９ごと
１９８０あったけど
１９８１かたに
１９８２ぶつかる
１９８３こと
１９８４も
１９８５なく
１９８６ほそぼそ
１９８７ぼそぼそ
１９８８ありがとさん
１９８９そら

１９９０えらい
１９９１ことで
１９９２そら
１９９３よう
１９９４がんばり
１９９５ましたな
１９９６こりゃ
１９９７えらい
１９９８ことやで
１９９９おかげさん
２０００ながかったような
２００１ながかったような
２００２ながかったような
ような
ような
ような
２００３きのうのきのうは２００４あああああ
２００５もうすぎた２００６ゆくさき２００７ざきまだまだ
２００８あまぐも２００９みえて２０１０そやけど２０１１てもとに
２０１２おりたたみ２０１３いっせいのうで・で２０１４あしたの２０１５こぜにを２０１６かぞえかぞえて
２０１７ここのつとお
２０１８すぎた
２０１９おおごと
２０２０のどもとすぎる

時代の行列が姿を消す頃。
アワヤの姿も見えず、モトアケがただひとり。
真夜中の町にただひとり。
そのモトアケの背後に、クニトコとカナサキと2人ならんで
時代の行列が過ぎ去った方向を見ている。

カナサキ　あー通り過ぎてもたー。

いい感じにほろ酔いのカナサキとクニトコがモトアケの両腕を抱きかかえた。

モトアケ　え、何が？悪い、俺なんか見過ごした？

クニトコ　目印の看板見過ごしたんちゃうか。

カナサキ　駅まで戻る？
クニトコ　いや、あってるんちゃう？
モトアケ　え？
クニトコ　モトやん、そっちの角まがったとこ。
モトアケ　え？どこ行くねん？
クニトコ　ビール頼んだらギョーザがおまけでついてくる店。
カナサキ　ギョーザ頼んだらビールがおまけでついてくる店やろ。
モトアケ　どっちやねん。
クニトコ　どっちにしろ価格破壊の店や。
カナサキ　今までの値段なんやったんやぁ。これで誰がもうけてんねんやぁ。
クニトコ　むちゃくちゃやでなぁ。
カナサキ　基準ラインはどこいってん。
クニトコ　基準はいつでも変わるもんや。
カナサキ　俺はもう何も信じひーん！風水もホロスコープも姓名判断も鈴木その子も何も信じひーん！
クニトコ　鈴木その子は違うやろ。
カナサキ　細木かず子の間違いやったー。
モトアケ　（こいつ）どうしてん？
クニトコ　なかなかしんどい日常らしいわ。
モトアケ　それで頼るのが占いって…
クニトコ　乙女か。
カナサキ　こんないろいろめちゃくちゃになっとんのに、見通せるかー。
クニトコ　見通されへんから頼ったんやろ。
カナサキ　よくなるって言われたのにー。
クニトコ　なおちゃんのことな。
モトアケ　長女の？
クニトコ　だから言うてたやろ。ガッゴ行くのもカナサキか嫁はん付添やねんって。
モトアケ　ああ。え、なんで？
クニトコ　ドアの前で足固まるんやて。
カナサキ　それだけちゃう、わー！
クニトコ　なるようになるて。
カナサキ　なるかー。
クニトコ　まあなぁ。一緒に住んでたら見過ごされへんからなぁ。
カナサキ　もう一件飲んだるでー。
クニトコ　俺は見過ごすしかでけへんからなぁ。まぁ、もう慣れたけど。
カナサキ　慣れてる場合かー。ええねんぞクニトコお前も叫んでええねんぞー。
クニトコ　絡むな絡むな。
カナサキ　なんか一言いうたれー。
クニトコ　叫ぶようなことは何もないて。
カナサキ　悟ってる場合かー。
モトアケ　ぐでんぐでんやなカナサキ。
カナサキ　うわー久々や久々に酔ってるわ今ここどこかもうわからーん。
モトアケ　お前、はよ家帰ったれよ。

カナサキ　きょーはええねん、モトやんに、あやまろおもて、モトやんこのあいだは、要するにあれや、言いすぎた、
クニトコ　もうええ込み入った話はもうええわ。はよ店行こ。
モトアケ　終電、もうないぞ。
カナサキ　だいじょぶ今俺の魂はもうリビングにおるから。
クニトコ　お前ここおるやろ。
カナサキ　おるようでおるおるようでおらんそれリビングのおれー。
クニトコ　なんや肩身狭いんか？
カナサキ　あほか俺はへーベルハウスや。
クニトコ　お前とこへーベルちゃうやろ。こいつへーベルやと思ってたのに家たったあとよーみたらバーベルハウスやってんて。
カナサキ　ちりじりばらばらばらばらそれでええんちゃうん、いややーそんなんいややー。
クニトコ　お前うっといぞ。
カナサキ　あれやぞ花粉は遠くまで飛んでいくために風に乗る。
クニトコ　お前さらにうっといわ。
カナサキ　俺千鳥足久しぶりやぞ。ちょう、これギャグちゃうでマジでマジで。
クニトコ　ネクタイ頭にまいとけ。
カナサキ　そんなんバブル以来見てないー。
クニトコ　あ。
モトアケ　ん？
クニトコ　…ちょっと今あれやね。
モトアケ　うん？
クニトコ　ちょっと今、青春の匂いがした…

真夜中に、車が通り過ぎる。
少し風が吹いた。

カナサキ　…ああ。ほんまや…

カナサキ　右手におったらするね。
クニトコ　ゲスい、ゲスいわ！
カナサキ　オナ、
クニトコ　言わんでええ。
カナサキ　俺らこのゲスい青春の匂いを嗅いだ時からまっしぐらやなぁ。
クニトコ　何に？
カナサキ　人間まっしぐら。
クニトコ　お前は獣まっしぐらやったやろ。
モトアケ　なぁ。
クニトコ　うん？
モトアケ　むなしならへんか？
カナサキ・モトアケ　は？

モトアケ　時々。

モトアケ　こんなんしてて、何になるんや。

モトアケ　って。
クニトコ　思春期か。
カナサキ　モトやん、それは余裕のあるヤツが思うことやで。
モトアケ　俺、一歩も歩いてへんような気するねんけど。
クニトコ　駅から歩いてきたやんけ。
モトアケ　一歩も、進んでへん。
カナサキ　ほな今まで何しとってん？
モトアケ　時代の行列、
カナサキ・クニトコ　は？
モトアケ　通り過ぎたやろ、見たやろ？

モトアケ　俺の脇の横、するり抜けていった、けっこう、長かったのにな、するり、真っ白い行列、俺、なんもひっかからんかったな…なんか、見過ごしたんかな。

カナサキ　いやだから見過ごしたんは目印の看板やって。
クニトコ　だからその角まがってみろって、
モトアケ　あ、
クニトコ　モトやん、どうしてん？
モトアケ　あ、あ、足が、
クニトコ　なんや？
モトアケ　うごかん…体…重たいわ…あかん、座らせてくれ。もう、何も、しとない…
カナサキ　飲み過ぎや。だってお前が女子高校生に見える。
クニトコ　飲まれ過ぎやな。ひるがえるスカートがまぶしく見える。
カナサキ　結構こういう子おるね。
クニトコ　イガイにかわいいかもな。
カナサキ　見慣れたら愛着わくし、
クニトコ　そや、美人は劣化したら見るに堪えんけど。
カナサキ　ブサイクは見慣れるしな。
クニトコ　情って恐ろしなぁ。あかん、角まがってもやっぱ店ないわ。
カナサキ　あーやっぱ見過ごしたんかなぁ。

トモダチ　モトちゃん。

そこにはモトアケと同じ制服着た年増の女子高校生がいた。

モトアケ　…？
トモダチ　モトちゃんこっちおいで。

酔っぱらいのオジサンたちから守るようにしてモトアケの手をひっぱる。

トモダチ　モトちゃん、無視し。

モトアケはよく分からずカナサキとクニトコを見た。

トモダチ　見たらあかんって、無視しって。
カナサキ　モト…
トモダチ　ちょっとやめてください。
カナサキ　いや、俺ら、
トモダチ　あんまりしつこかったら大声出しますから。
クニトコ　きみ、なんか勘違いしてるで。
トモダチ　見たまんまやし、
カナサキ　そうや見たまんま。
クニトコ　俺らな、
トモダチ　酔っぱらい。
カナサキ　うんそう。
トモダチ　モトちゃんいこ。
クニトコ　うんそう、俺らモトちゃんのおとんの友だちやねん。
カナサキ　うんそう。
クニトコ　うんそう。
モトアケ　…は？
トモダチ　うそやん。モトちゃん、ほんま！？
カナサキ　モトアケのこと迎えに来たんやろ？
クニトコ　あいつ店出る時、傘持ってきてくれるって言うてたから、
カナサキ　どこ行ったんやろ？
クニトコ　自動販売機の横で寝てんちゃうか。ちょっと待って、呼んできたるわ。
カナサキ　モトアケ、モトちゃん迎えに来てくれたで。

クニトコはカナサキと一緒に、いるはずだろうモトアケを呼びにいく。

モトアケ　…傘…？
トモダチ　なんや。そやったんや。酔っぱらいにからまれてるんかと思った。これやろ、お父さんの傘。

真っ黒な、コウモリ傘を手渡された。

トモダチ　降りそうやもんな、ヒョウ。
モトアケ　…ラブリーエンジェル…？
トモダチ　は？
モトアケ　俺は、
トモダチ　オレ？
モトアケ　どこから来たんや…？

湯船から水を滴らせて、アームストロング船長がやってくる。
水の王国の地球から、生命の源を滴らせて、世紀の一歩を踏み出す。

モトアケ　…なんでアームストロング船長…？

ゆっくりと、船長は歩く。
まるで月面を歩くように。
遠くから、カナサキとクニトコの声がした。

カナサキ　モトやん。そんなとこおったんか。
クニトコ　モトちゃんが傘持ってお迎えや。ええなぁ。

２人は、月面を歩くアームストロング船長にそう呼びかける。

トモダチ　はい、モトちゃん。傘。

呆然とするモトアケの手をとって、トモダチは傘をさしてくれる。

トモダチ　また明日な。

トモダチはアームストロング船長にぺこりと頭を下げる。

トモダチ　おっちゃんこんばんは。

アームストロング船長は会釈する。
ゆっくりと、モトアケの傘に入るアームストロング船長。
バラバラと降り注がれるヒョウ。

モトアケ　…ヒョウ…時代の行列のアトに、ヒョウ…

黒いコウモリ傘を差したモトアケと船長は相合傘でヒョウから身を守る。
アームストロング船長の歩みは緩やかで、モトアケはつられそうになる。

モトアケ　アームストロング船長…

船長はゆるりと歩き続けるだけ。

モトアケ　なぁ、あんたほんまは月行ってないんちゃうん？

月面を歩くようにゆるりと足をあげる。

モトアケ　全米市民約２０％が捏造説指示なんやろ？ソ連に負けたなかったからウソついたんちゃうん？もしやぁ、ほんまにウソやったら、すごいな。７億２０００万人騙したんやから。なぁ、でもこれ、どこまで続くんかな。コトの真相ってやつは誰が知ってるんや。

アームストロング船長は、歩みを止める。

モトアケ　…ああ、俺別に、ホンマのこと言えやとか言うてるんちゃうねん。ホンマかウソかどうでもええ。俺、あの映像見たとき血がざわざわ動いた。新しい世界見たと思ったから、別にウソでもかまへん。だってあれってロマンやろ？ウソかホンマかなんか、１０万年後に残ってるほうが歴史になるだけや。真相もくそもあらへん。ああ、むかつくけどあいつの言うことあってるかもな。全部、真夜中の、闇に…

船長はゆっくり向こうを指さす。

モトアケ　？

船長が指差した。
その先を見ろと、船長が言っているようで、
モトアケはゆっくりと指の先に目をやる。

モトアケ　…！

湯船から、ゆっくりとあらわれる。
青い青い青い、青い地球が浮かんであらわれる。
まるで、僕たちは月からこの青い地球を眺めているようだ。

モトアケ　…何やねん…そしたら、ここどこやねん…？

モトアケは思わず船長を見る。

モトアケ　アームストロング船長…おっちゃん…帰り道…傘でお迎え…並んで歩く…ちんちん同士がケンカせぇへん…

モトアケ　これは…誰の理想や…？

全てを分かっているように、アームストロング船長はうん、うん、と頷いた。
なんとなく、モトアケはそれを受け入れようとしたけれど、
アームストロング船長の頭をはたいて突っ込む。

モトアケ　いや、うんうん、やないやろ。頷かれても俺さっぱり意味分からんし。

それでも船長は全てを受け入れるように、うん、うん、と頷いた。
モトアケは、頷くアームストロング船長を覗き込む。

もっとよく見ようとして頭を掴む。
メットの向こうの顔を、
よく、よく見る。

モトアケ　…

何かに気が付いて、

モトアケ　俺の顔や…

モトアケ　どうしてん…

モトアケ　どうしてん？

モトアケ　どうしてん！

まるで誰かのイマワノキワを看取るように、
絶叫する。

モトアケ　どぉーーーーーーーーーーしたんだ・へへい・べいべ

「クニトコ　大丈夫か？」

モトアケ　俺、

「カナサキ　クニトコそっち持って」

モトアケ　俺の顔や、俺の、

「カナサキ　そやなぁ」
「クニトコ　待ってカナサキ、俺もう一回手合わしたい。最後やから」
「カナサキ　俺も手あわせとこ。モトアケ…お前、やっぱりめっちゃおっちゃんと似てるなぁ」
というカナサキとクニトコの声が聞こえるかもしれない。

掴んでいるモトアケの手からするりと抜けて。
アームストロング船長がメットを取り宇宙服を脱ぐ。
と、
若い顔があらわれる。
それはモトアケJrと同じ顔をした
モトアケの父親「タノメ」
水が滴る惑星の沈黙を破ったのは、
アワヤ。

アワヤ　はい、バンごはーん！

丸太をフルスイングして水も滴るいい惑星を打った。
タノメはアワヤと向かい合って座る。
モトアケはある日の風景を見る。

タノメ　あーちゃん。
アワヤ　晩ゴハン。
タノメ　その前にちゃんと話しよ。
アワヤ　またそのはなしい！？いいじゃん。ほら、モトちゃんいるんだから。
タノメ　あれ丸太やろ。
アワヤ　でも愛着湧いてきたでしょ？名前つけるだけでグンって愛着ポイントあがるの、グンって。
タノメ　モトアケモト子。
アワヤ　のびのび太みたいでかわいい。
タノメ　あーちゃん。あれは丸太や。
アワヤ　タッくん。
タノメ　うん。
アワヤ　子どもは欲しくない。
タノメ　えーやん。

とタノメはアワヤに抱きつくが、かわすアワヤ。

アワヤ　今日はだめー。
タノメ　だからこそえーやん。
アワヤ　だめ。
タノメ　えーやん。
アワヤ　だめ。
タノメ　えーやんえーやんえー。
アワヤ　だめ！
タノメ　じゃどうすんの？俺らどうすんの？
アワヤ　このままで。
タノメ　嘘や。
アワヤ　何が？
タノメ　あーちゃんが、このまま、なんていられるわけない。
アワヤ　タッくん、って…
タノメ　明日になったら、あーちゃんどっかに行ってるかもしれへんのに。
アワヤ　私のことよっく分かってるねぇ。
タノメ　よう分からん。一緒におっても、違うところ見てるみたいで、ほんまのところ、あーちゃんのことは、よう、分からん。
アワヤ　…タッくん、私ねぇ、
タノメ　うん。
アワヤ　指名手配中なのよ。

タノメ　！？
アワヤ　そんなニンゲンが家庭でホクホクってよろしくなくない？
タノメ　…角の、交番とかに、貼ってあんの…？
アワヤ　あ、ダメだよ。警察なんかはコトの真相掴んでないもん。
タノメ　…は？
アワヤ　私は神様の指名手配ついてんの。
タノメ　あーちゃん…俺、意味が…
アワヤ　分かんない？
タノメ　あーちゃん…何したん？
アワヤ　見過ごしヒトゴロシ。
タノメ　は…
アワヤ　道に転がってる誰かが「助けて」って言っても見過ごすの。知り合いが「助けて」って言っても見過ごすの。それで何日後かに知るの。あーあの人死んじゃったんだぁって。でも私は生きてるの。
タノメ　でも、でもそれは、
アワヤ　仕方なくないよ。
タノメ　でも、
アワヤ　私ねぇ、人間が全部丸太んぼに見えるの。あー丸太だぁ。ジタバタ無様に生きてるーって思うの。そしたらね、気付いたんだけど、私が丸太なんだよね。手も足も出なくてごりごりして無様で。
タノメ　俺、も？
アワヤ　タッくんはねぇ、奇跡だね。丸太がごりごりしてる時に1人だけ人間が混じってるって思ったもん。そんな人初めて見た。
タノメ　じゃ、
アワヤ　でもダメ。私今まで色んなもの見過ごしてきたから。
タノメ　俺とのことは、見過ごしてないし、
アワヤ　丸太がどうやったら人間になれるかなぁって思ったけど、なれないね。もしかしたら私とタッくんの間は月と地球くら距離があるかもしんない。よく出会えたねぇってくらい。
タノメ　そんな、オオゲサな、
アワヤ　無関係だったのにね。ごめんね。
タノメ　だって、だって、丸太アートは無関係を関係させるんやろ？
アワヤ　関係って難しいよねぇ。
タノメ　…あ。なぁ、あーちゃん…丸太アートって、言うてるけど、それって、ただ単に。
アワヤ　うん？
タノメ　ただ単に、家族を作ることなんちゃうの…？
アワヤ　どうして普通のことが出来ないんだろうね。

アワヤはガーゼでモトアケの首をぬぐってやる。
丸太の首をぬぐってやる。

アワヤ　タッくん、想像するだけじゃ物足りない？タッくんに似てる女の子のモトちゃん。だから女の子にしちゃごついかもしれないけどおさげが似合ってて、トモダチもいて、雨が降ったら駅までお迎えに来てくれるの。雨っていいよねー、ザーザー全部流れていくから。やっぱ水ないとダメだね、水からやってきたんだし人間って、あ、ブッダの教え知ってる？丸太が海に行きつくには８つのアヤマチを乗り越えなきゃ海にたどり着けないの。

もし丸太が、手前の岸の近くで捕まえられないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、向こう岸で捕まえられないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、水に沈まないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、河の中で小さな島に乗り上げられないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、人間によって取り去られないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、神々によって取り去られないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、渦巻きによって沈まないならば、海にたどり着くであろう。もし丸太が、腐敗しないならば、海にたどり着くであろう。丸太は、以上８つのあやまちに陥らないならば、海にたどり着くだろうって、それって人間にも当てはまるんだって。執着と自尊心とうぬぼれと、なんだっけ、それ無理だってことばっかりだよね、だって世界は丸太ばっかりで、手も足も出ないのにジタバタして、どこに辿りつくんだろ、う、

タノメ　あーちゃん…

タノメ　あーちゃん、ホンマは、何したん？

タノメ　何してん？

タノメ　何してん…？

タノメ　ある。

タノメ　俺も、いっぱい、ある。

タノメ　見過ごすこと、いっぱい。何年もたったあとでポロっと出てくること、いっぱい、そんなん、ばっかりやろ。

タノメ　俺、見過ごす。

タノメ　これも、あーちゃんの、ウソかも、しれへんし。

タノメ　ウソかホンマかなんか、１０万年後に残ってるほうが歴史になるだけや。真相もくそもあらへん。全部、真夜中の、闇に消えてしまえばいい…

アワヤ　タッくんも、海にたどり着けない丸太だね。

アワヤ　こんなふうに、

アワヤ　こんなふうに、私たちは堕落していくんだね。

♪Woo 神様涙止めて

アワヤは小さな青い惑星を取り出す。
タノメは丸太を構えて。
アワヤはそれを投げる。

タノメフルスイング。
当たらない。

♪Oh このまま眠らせてずっとずっと
Oh Yeh 神様世界止めて
Oh 二人を消さないでずっとずっと Oh,baby

アワヤはまた小さな青い惑星を取り出して投げる。
当たらない。

♪そっと口づけかわして折れるほど抱きしめて
何度でも君に触れていつまでも夢を Oh,baby

取り出して投げる。
当たらない。
タノメは空振りを繰り返す。

♪Oh 神様時間止めて
Oh このままキスさせてずっとずっと
Oh Yeh 神様世界止めて
Oh 明日を遠くしてずっとずっと
Oh Yeh 神様涙止めて
Oh このまま眠らせてずっとずっと Oh Yeh…

やがて、やっとのことでたったひとつの惑星を、打つ。
アワヤはアームストロング船長に近づいてそっと抱きしめると
その姿は闇に消える。

それでも、タノメはまだフルスイングを繰り返す。
もう、飛んでくる惑星はひとつもないのに。
虚しく丸太は空を切るだけ。
空振って空振って空振って。
どんどんエネルギーを失くしていく。
放出された精子の分だけ、寿命が短くなるのとひどく似ている。
ひとりきりの空振りに疲れたころ、

モトアケ　なぁ。おとん。

タノメは丸太に何かを刻んでる。

モトアケ　なぁ。

タノメは返事もせず丸太に何かを刻んでる。

モトアケ　なんで俺んとこ、おかんおらんの？

モトアケ　カナサキんとこもクニトコんとこもおるのになんでおらんの？死んだん？別れたん？おとん、シングルパパ？

モトアケ　なぁって。

タノメ　…知らん。

モトアケ　知らん！？うそやんマジで！？ちゃんと教えてぇや。

タノメ　ちゃんと、話せるほど、別に、なんもない。

モトアケ　え、じゃなんで俺ここおんの？

タノメ　クリーンヒットや。

モトアケ　ちょ、マジ真剣。

タノメ　だから知らんって。

モトアケ　あ。

タノメ　何やねん？

モトアケ　おとん、捨てられた…？

タノメ　…

モトアケ　浮気が原因？

タノメ　ちゃう。

モトアケ　借金が原因？

タノメ　ちゃう。

モトアケ　酒癖が原因？

タノメ　下戸や。

モトアケ　ギャンブルが原因？

タノメ　せん。

モトアケ　あかん、俺の想像力の限界きた。

タノメ　だから、知らんって。

モトアケ　男と逃げた！？

タノメ　そんな分かり易かったらこんななってない。

モトアケ　それってやぁ、おとんあきられたってことちゃうのん？

タノメ　お前のカードゲームとはワケちゃう。

モトアケ　それやったらおとんもカノジョ作ったらええんちゃうん？

タノメ　お前…

モトアケ　あ？

タノメ　どこでそんな言葉覚えてくるねん…？

モトアケ　こんなことくらい最近はジョーシキやで。

タノメ　いろいろむずかしねん。

モトアケ　休みの日になったらこもってガリガリやってんと外でぇや外。

タノメ　休みの日は休ませてくれ。お前…
モトアケ　何？
タノメ　おかん、欲しいか？
モトアケ　欲しいかどうかも分からん。どんなもんか知らんしな。
タノメ　欲しいから聞いたんちゃうんか？
モトアケ　ただなんとなく聞いてみただけ。
タノメ　アーティストやったんや。
モトアケ　は？
タノメ　丸太アーティストや。
モトアケ　おとん、俺が子どもや思って適当かましてるやろ？

タノメは力なく笑った。

タノメ　全然分からんかったけどたぶん。
モトアケ　何が？
タノメ　アワヤ、あーちゃん。人間になりたかったんかな。
モトアケ　それが、おかんの名前？
タノメ　俺とじゃ無理やっただけか…ああ、分からん。
モトアケ　あ？
タノメ　月の裏側みたいなもんや。やっぱり何も、分からんかった。
モトアケ　俺のほうこそなんやよう分からんけど。おとん、振り回されっぱなしやな。
タノメ　…
モトアケ　まぁ……元気だせや…
タノメ　俺…丸太やからなぁ。真実、刻まれへん。

ガリガリと、丸太に刻む。

モトアケ　なぁ。

少しだけ成長したモトアケ。

モトアケ　おとん。

タノメはガリガリと丸太に刻む。

モトアケ　なぁ。

それからまた成長したモトアケ。

モトアケ　おとん。

タノメはガリガリと丸太に刻む。

モトアケ　なぁ。おとん。

それからまた成長したモトアケは、冷やかにタノメを見る。

モトアケ　何十年落ち込んでるねん。

タノメはガリガリと丸太に刻む。

モトアケ　おとんって…ホンマしょうもないな。

タノメはガリガリと丸太を刻む。

モトアケ　中身はずっと思春期のまんまか？

モトアケ　なぁ。

モトアケ　なぁて。

モトアケ　なぁちょっとはしゃんとしろや。

タノメ　お前はどやねん？

モトアケ　は？

タノメ　何してるねん。何してきてん。どこにおるねん。何残すつもりやねん。何見過ごしてきてん。

モトアケ　はぁ？何言うてるねん。俺がこんななってんのは、おとんと、見もせんおかんのせいやろが。

タノメ　俺らのせいにするなよ。

モトアケ　半分はそっちのせいやろ。俺が覚えてるんはガリガリやってるおとんの背中だけや。

タノメ　お前こそ何思春期みたいなこと言うてるんや。

モトアケ　あ…

モトアケの足元がぐらりと揺らぐ。

モトアケ　おかしなぁ。

モトアケ　こんなん、おかしいなぁ。

モトアケ　おとんが…おとんが俺より若い…

モトアケ　これは、おかしいやろ…

ぐらんぐらんと不安定な足元。

揺れて揺らいでそして、
モトアケは浴槽の中へと倒れ込んだ。
大きな水しぶきをあげて、底に沈んでいく、
瞬間に、

カナサキ　お前、おかしなったんか？
クニトコ　ぶちぎれてしもたんやな。

湯船からずぶぬれの喪服姿のモトアケを引っ張り上げるカナサキとクニトコ。

クニトコ・カナサキ　ずぶぬれやんけ。

よく見ると、それはあのモトアケではない。
タノメによく似たそれはもうひとりのモトアケJr。

モトアケＪｒ　…ちがう。

モトアケＪｒ　これは俺の涙や。

モトアケを継ぐモトアケ。

クニトコ　もうそろそろや。出棺。大丈夫か？
モトアケＪｒ　俺、
カナサキ　クニトコそっち持って。
モトアケＪｒ　俺の顔や、俺の、
カナサキ　そやなぁ。
クニトコ　待ってカナサキ、俺もいっかい手合わしたい。最後やから。
カナサキ　俺も手あわせとこ。お前、やっぱりめっちゃモトアケと似てるなぁ。
クニトコ　なぁ、アワヤちゃんは？
カナサキ　来るわけないやろ。
クニトコ　来るわけないわなぁ。
カナサキ　こいつ生まれたあとすぐおらんようになったまんまや。
クニトコ　でもそれから今まで何も連絡ないって、それおかしいやろ。
カナサキ　おかしい女やったやんけ。
クニトコ　カナサキ。
モトアケＪｒ　おとんが、
クニトコ・カナサキ　ん？
モトアケＪｒ　俺より若くて、いや、ちゃうな、俺が年いって、俺のこの先ずっと先、ハロー何年後の僕や？いや、俺がおとんのおとんで、どっちか見分けつかんくらい、俺おとんに似てた…なぁ、おっちゃんら…同じコトやってまうんかな？

モトアケＪｒ　俺、ほんまにちゃんと地球に来れてるんかな。

モトアケＪｒ　ただの丸太が見てる、夢なんちゃうかな。

クニトコ　まぁ…おーおーにして、そんなもんやろ。

人生は、とは、あえてクニトコは言葉にはしなかった。

カナサキ　ああ、また降り出したな。
クニトコ　ヒョウが降るくらいや。夢でもおかしないかもしれんわ。
カナサキ　大魔王が降ってもおかしないくらいやからな。
クニトコ　それめっちゃ流行ったけど、降らんかったなぁそういや。
カナサキ　ちゃうで。
クニトコ　あ？
カナサキ　降っとんねんずっと。見えへんだけで。
クニトコ　なるほどなぁ。そらしゃぁないわ。見えんかったら見過ごすことも出来ん。まぁそれでも生きとんで。
カナサキ　こんななってもなぁ。
クニトコ　俺らしぶといなぁ。
カナサキ　モトやん。
クニトコ　うん。
カナサキ　口癖やったけど、
クニトコ　うん。
カナサキ　何見過ごしたんやろなぁ。
クニトコ　ちゃうで。
カナサキ　あ？
クニトコ　何か、見たかったもんがあったんやろ。
カナサキ　何が見たかったんかなぁ。
クニトコ　そら絶対に見られんもんほど、見たいやろ。

カナサキ、モトアケが見られないものを想像してみる。
ふと、Ｊｒを見た。

カナサキ　あ。なぁ、
クニトコ　ん？

カナサキ、顎でクニトコに示す。

クニトコ　ああ、そやな。
モトアケＪｒ　…何ですか？
クニトコ　これは見られへんな。
カナサキ　見たいやろうけどな。
モトアケＪｒ　え？
クニトコ　お前のふーちゃーや。

カナサキ　しゃぁないでモトやん。しゃあない。だってお前死んでもたもん。なぁ。
クニトコ　俺モトやんが倒れた時に、御堂筋歩いてた奴ら全員恨み続けたるわ。
カナサキ　全員知ってんのか？
クニトコ　知るわけないやろ。
カナサキ　恨みようないやんけ。
クニトコ　そうや。誰かひとりくらい声かけたっても良かったんちゃうんか。どんだけ人歩いてるねん。
カナサキ　酔っぱらいやと思われたんやろ。
クニトコ　それでもひとりくらい、
カナサキ　知り合いちゃうかったら誰でも、お前かって見過ごすもんやろ。
クニトコ　なんやお前えらいさっぱりしすぎちゃうか？
カナサキ　ちゃう。
クニトコ　あ？
カナサキ　さっぱりなんかできるか。ほんま分からん。
クニトコ　ああ、何が起こるか、ほんま分からんわ。ふーちゃーは、そういうもんか。
カナサキ　うん。
クニトコ　うん。
カナサキ　あ。
クニトコ　あ。
カナサキ　今、
クニトコ　うん、ちょっと今、
カナサキ　あれや。
クニトコ　青春の匂いがした…

モトアケＪｒ　このヒョウ、足元悪いなか父のためにお集まりいただき誠に、ありがとうございました。

モトアケＪｒは深く頭を下げた。
深く、長く。
顔を上げた時には、クニトコとカナサキの姿はもうどこにもない。
モトアケＪｒは浴槽の縁に座りネクタイを緩める。
喪服を脱ぐ。
Ｙシャツを脱ぐ。
そこには若い肉体がある。
シャワーの蛇口を捻った。
浴槽に悠々と浸かっているのは、
放置されたヒトリモノ。

放置されたヒトリモノ　で？
モトアケＪｒ　しょーもない、おっさんやってん。
放置されたヒトリモノ　ふぅん。
モトアケＪｒ　しょうもなすぎて、何も残ってない。
放置されたヒトリモノ　そうなん。

モトアケＪｒ、バチンと水面を殴った。
モトアケの顔が映ったのかもしれない。
水しぶきが顔にかかってラブリーエンジェルがむっとした。

モトアケＪｒ　そやのに全部残ってる。

モトアケＪｒ　これも、

モトアケＪｒは自分の腕をぴしゃりと叩く、と水面に手が当たって水しぶきが飛ぶ。

モトアケｊｒ　これも、

またバチンと肩を叩くと水面が揺れて水しぶきが飛ぶ。

モトアケＪｒ　これも、

モトアケＪｒ　これも、

モトアケＪｒ　これも、

モトアケＪｒが水面を打つたびに、ラブリーエンジェルはむっとする。

ラブリーエンジェル　ちょっと！やめぇやもう！

ぴしゃりと叱られて、モトアケｊｒの顔が歪む。

モトアケＪｒ　俺めっちゃおとんに似てくる。先見えたみたいで、あかんな、なんか男同士はちんちん同士がケンカするみたいや。あの火葬場で焼かれたのは俺のほうやったんちゃうやろか…

バチン。
打たれたのは水面ではなない。
モトアケＪｒの頬。

放置されたヒトリモノ　なに眠たいこと言うてんねん。ヘタレか、お前。

呆然とするモトアケＪｒをほったまま、
放置されたヒトリモノはスマートフォンをチェックする。

放置されたヒトリモノ　あ、雨降り予告や。

モトアケＪｒは顔をあげる。

放置されたヒトリモノ　何か月ぶり？ヒョウばっかやったのに。

シャワーヘッドから、無数の雨粒。

放置されたヒトリモノ　これでまたちょっと潤うな。しぶといなぁ。

放置されたヒトリモノ　ちょっと外見に行こうや。

モトアケＪｒ　…ええわ。

放置されたヒトリモノ　久々やで。

モトアケＪｒ　俺、雨見にここ来たんちゃうし。

放置されたヒトリモノ　なんやのんおもろないな。

モトアケＪｒ、空から降る雨と干からびた地球を想像してみる。

鼻歌でも歌ってみる。

♪I'm singin' in the rain

Just singin' in the rain

放置されたヒトリモノ　最後の雨かもしれへんのに。

モトアケＪｒ　また降るわ。

♪I'm singin' in the rain

Just singin' in the rain

放置されたヒトリモノ　そうやって見過ごすもんやねん。

♪I'm singin' in the rain

Just singin' in the rain

モトアケＪｒ　なんで…

モトアケJr　なんで歌てまうんやろ。楽しいワケでもないのに。

放置されたヒトリモノは仕方なしに浴槽の中に身をかがめる。

モトアケＪｒは浴槽に両手を放り出して天を仰ぐ。

そうやって、また、

快楽の底に沈んでいく。

ドブンと沈んでモトアケJrは見えなくなる。

♪I'm singin' in the rain

シャワーから空中へ水滴が発射され続ける。

♪Just singin' in the rain

水面を叩きつける。

♪What a glorious feelin'
I'm happy again
I'm laughin' at clouds
So dark up above
The sun's in my heart
And I'm ready for love
Let the stormy clouds chase
Everyone from the place
Come on with the rain
I've a smile on my face
I'll walk down the lane
With a happy refrain
Just singin'
Singin' in the rain
Dancin' in the rain
Yadee da dadada
I'm happy again
I'm singin' and dancin' in the rain
I'm dancin' and singin' in the rain

放置されたヒトリモノが浴槽から立ち上がり、
シャワーを止める。
ポン、と浴槽の栓を抜く。
水が底に渦を巻いて吸い込まれていく。
そうして放置されたヒトリモノはおもむろに掃除を始める。
タイルを磨き、浴槽を磨く。
ふとカラになった浴槽を覗き込み、
手を伸ばす。
浴槽の底から一本の丸太を取り出す。
お包みに包まった丸太を取り出す。
浴槽の縁にその丸太を置いた。
いつまでも響く、I'm singin' in the rain
それもやがて水の中で聞く響きへと変わっていく。
遙か向こうに、
青い地球が浮かんでいる。
丸太は遙か向こうの地球を眺めている。

おしまい

※上演時に「雨上がりの夜空に」「ヘビーローテーション」
「いいんだぜ」「世界を止めて」「雨に唄えば」
ジャスラック申請。